

事業所名

チャレンジャー

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

1月

15日

法人（事業所）理念		私たちとおんの職員は福祉サービスを提供し、利用者の生活の自立を目指します。 私たちとおんの職員は利用者とその家族と共によりよくを目指し自己成長を目指し 私たちとおんの職員は地域の課題に取り組みまちの活性化に取り組みます。							
支援方針		チャレンジャーのお子様一人一人の意思を尊重し、特性や個性を活かしながら活動への参加を促していきます。 職員の専門性を活かしお子様の課題について検討していきます。話し合いの際は、保護者、学校、医療関係者等連携を取りながらお子様の最善の利益を追及していきます。							
営業時間		8時	30分	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣（健康な身体作り、食事、排せつ 衣類の着脱等）の日常動作が1人で行えるよう、お子様に応じた支援を行います。 ・食事やおやつについては、活動として、食材の買い出しや食事作り、おやつ作りを取り入れ、食事の一連の流れを学ぶ機会を設けます。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・運動や音楽活動に参加し、楽しみながら身体能力の向上を目指します。 ・感覚過敏のあるお子様については、活動内容を考慮しながら、環境を整える等個別に対応していきます。 ・姿勢、手先の使い方については作業療法士が中心となり、その児童に応じた支援の方向性を職員で検討していきます。 ・身体を動かしたり、指先を使った活動をし、「できなかったことが、できた」と言う達成感と自信に繋げていきます。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の特性や、物事の捉え方、行動のパターンを理解し、適切な行動に導いていきます。 ・ソーシャルスキルトレーニング等活動の中で職員や子ども達と楽しく学び認知の偏りを軽減させ、学校や地域で活用できるよう支援していきます。 ・注意力と危険回避の為の認知力や行動力の習慣づけを行います。 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内外で子ども達が自ら挨拶したり、返事をする事でコミュニケーションのきっかけづくりを学びます。 ・外部講師やボランティアとの交流を通し、コミュニケーションの幅を広げます。 ・言語以外にも絵カードを取り入れたり、ジェスチャーを通し「自らの意思」を伝える方法を個別に検討していきます。 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の特性に合わせ、他者との人間関係を構築していきます。 ・活動を通し、自分以外の人があること、それぞれに考え方があることを学ぶ機会を設けます。 ・他のデイサービス児童との交流や地域のイベントに参加し社会性を習得していきます。 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての相談にも丁寧に対応し、必要に応じて専門機関につなげます。 ・ペアレントプログラムや保護者会を通し、保護者が子育てについて学ぶ機会、保護者同士の交流の場を設けます。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・進学、就職を見据えた子どもの発達の評価・支援を行います。 ・地域の児童館、地域住民との交流の機会を設けます。 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の通う学校や、併用利用のデイサービス、相談支援事業所、保護者と情報の共有を行い、お子様の成長を見守ります。 ・地域の児童館、公共施設、商業施設等へ出かけ、地域住民との交流の場を設けます。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・研修会や射水市障害者総合支援協議会子ども部会への参加、福祉、教育、医療関係の研修会に参加し視野を広げ職員の質の向上を目指しています。 		
主な行事等		季節活動 防災訓練、防犯訓練、避難訓練等 保護者向け・保護者会 ペアレントプログラム							